

令和8年6月4日公安委員会会議概要

第1 会議日時

令和8年6月4日（木） 午前9時40分 ～ 午後1時00分

第2 会議場所

公安委員会会議室、公安委員室

第3 出席者

1 公安委員会

松永委員長 久保田委員 三輪委員 杉山委員 中山委員

2 警察本部

本部長 総務部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部参事官兼刑事企画課長
交通部長 警備部長 情報通信部長 首席監察官 サイバー対策本部長 警察学校長

第4 議事の概要

1 審議・報告案件

(1) 学生に対する闇バイト加担防止対策について（生活安全部）

生活安全部長から、他県で発生した高校生等による強盗殺人事件を踏まえて取り組む、学生に対する闇バイト加担防止対策について報告があり、委員から、直近で行う非行防止教室や公開授業の対象が通信制高校であることについて「今後は私立や公立校にも同様の対策を行っていくのか。」「学校を通じて以外のアプローチ方法はどのようなものかを考えているか。講話以外の方法による緊急的な啓蒙も必要ではないか。」旨の質疑や発言があり、生活安全部長が「講話としては、まずはカリキュラムの自由度が比較的高い通信制高校に協力いただいた。引き続き各学校に協力を呼び掛け、定例的なものとして学校のカリキュラムに組み込まれるよう努めていく。」「SNSを通して等の広報も行っていく。通学していない有・無職少年へのアプローチ方法もSNS以外に無いか検討を進める。」旨を返答した。

また、委員から「今回は闇バイトへの加担防止が焦点であるが、若者が特殊詐欺の被害に遭わないようにという対策も大切である。詐欺対策アプリ『詐欺バスター』の導入呼び掛け等、犯罪の加害者にも被害者にもならないという両面でアプローチしてもらいたい。」旨の発言があり、生活安全部長が「両面で強力に推進する。」旨を返答した。

そのほか、委員から「中高生の頃の友人関係がどうであったかが後の人生に影響する、という話もある。そのような視点で言えば、このような非行防止教室等はこれからも続けていってもらいたい。」「闇バイトへの勧誘は先輩後輩等の身近な者からという話であるが、強い弱い、敵う敵わないも含めた垂直的な関係は、多くは中学生となり部活動に入り始めた頃から始まるとも言える。また、その年代はまだ世の中について知らないことも多

く、人が盛ったり広げたりした話を信じやすいということもある。部活を含め、垂直的な関係性を築く集団にいる子供たちに向け、はっきりと断ることの大切さや、自分達が身を置いている集団の中の上下関係は、思ったほど怖いものではないよ、警察がしっかり守るよ、ということを伝えるというアプローチの仕方も考えてもらいたい。」「部活動の大会関係者と関係性を作り、生徒が多数集まる大会という場で広報できれば有益かもしれない。」旨の発言があり、生活安全部長が「部活動の関係性は確かに強いものであり、検討していく。」旨を返答した。

(2) 台風第6号接近に伴う対応について（警備部）

警備部長から、台風第6号の接近と通過に伴う対応について報告があり、委員から「危険警報が新設されるなど防災気象情報の仕組みが変化した直後であり、被害と対処の双方で全国的に警戒して対応に当たった台風でしたが、比較的影響が少なく安心しました。」

「線路沿いの法面の崩れにより伊豆急行が運休とのことですが、早期の復旧をお祈りします。」旨の発言があった。

(3) 令和8年度静岡県警察通信指令・無線通話技能競技会の開催について（地域部）

地域部長から、令和8年度静岡県警察通信指令・無線通話技能競技会の開催について報告があった。

2 個別決裁・報告等

- (1) 監察案件（監察課：主任監察官）～報告
- (2) 公文書及び保有個人情報開示請求処理結果（令和8年5月分）（警察相談課：管理官）～決裁
- (3) 公安条例の取扱状況について（警備課：次席）～決裁
- (4) 公安委員会宛て文書等について（総務課：管理官）～決裁
- (5) 警察署協議会委員の辞職の申出と委嘱候補者について（総務課：管理官）～決裁

3 運転免許の行政処分

意見の聴取・聴聞実施件数は11件で、警察からの個別の説明を基に処分を決定した。